

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成

波佐見中学校学校便り

第 24 号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

令和7年はじまる



新学期元気に登校する波佐見中学校の生徒の皆さん
=1月8日波佐見中学校正門前

「魅力」あふれる 波佐見中学校に

令和7年はじまりました。あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

生徒の皆さんはこの年末年始はどのように過ごしたでしょうか。3年生の皆さんは多くの時間を受験勉強に費やしたのではないのでしょうか。また1、2年生の皆さんも昨年1年間を振り返り、今年の目標や頑張ることとを決めたのではないかと

思います。私も昨年を振り返り、今年の目標を考えました。今年「魅力化」としました。昨年末から何度か生徒の皆さんにも話をしましたが波佐見中学校の魅力アップさせることは波佐見町の魅

力アップにつながります。生徒の皆さんや先生方、保護者の皆さんや地域の方々とのつながりを今以上に生み出し、波佐見中学校に通うこと、勤務することを誇りに思い、ちよつと自慢できる。そんな学校にしていきたいと思ひます。

私も現状にとどまらず、新しい知識や技能を身に付けアップデート(これは昨年の目標)しながら、自身も魅力的な人間になれるよう頑張りたいと思ひます。波佐見中学校と一緒に盛り上げて、「魅力」あふれる学校にしていきましょ

教職員の学び~校内研修~



対話する先生方 12月25日

12月25日(水)に校内研修を行い、2学期に実施した授業の振り返りと改善点について対話を行いました。身に付けてほしい知識をしつかりと教え伝えることを大切にしながら、これからの変化の大きな社会を生徒の皆さんが生き抜いていく

力(自ら学んでいく力)を付ける授業の在り方について協議し、3学期に自分の授業でどのような工夫をするかを考えました。F先生とI先生が、県内の公立高校で進めている「学びあい学習」の視察に行ってきました。そこでの生徒の学びの様子や取組に

ついて見てきたことを情報共有し、様々な角度から波佐見中でできることはないか、逆にそのような授業を実施することについての不安や懸念されることについても意見を申し合いました。

先生方の発言から、目の前にいる波佐見中の生徒たち、この後どんな風に育ってほしいか、未来をどう生き抜いてほしいか、そのために今教職員が何を行うべきか、熱い思いが感じられました。

これまで「学ぶ」ことは「学校」がその中心でしたが、これからは「生涯」にわたって「学ぶ」ことが求められます。学校では生涯学び続けるための力を身に付けるのだと思ひます。点数で測定することができず、力だけでなく、自分の良さや他人の良さを理解できる力、人と協働することができる力、コミュニケーション力、主体性、探究する力、など多様な力をつけることができる授業を目指して先生たちも頑張っていけます。

1月31日(金)と2月4日(火)子ども県展巡回展が波佐見町講堂で開催される。70回記念展とのこと。10年前、私が県の学芸文化課に勤務した時に60回を担当した。美術は専門外だが応募作品の審査に立ち合うとそれぞれの作品からじみ出る力強さや長崎県の各地域の特色などが感じられ楽しかった。その仕事に携わったおかげで美術館や博物館にもよく足を運ぶようになった。今回小学校1年生から中学校3年生まで県内から約8万7千点の応募があり特別賞(知事賞等)42点、特選788点が選ばれた。総合展は県美術館でそれら830点が展示される。波佐見町巡回展は特別賞と郡内の特選作品が展示される。同時に郡図画工作作品展も開催される。波佐見での子ども県展巡回展は初。講堂も子供たちの作品が来るのを心待ちにしていると思ひます。皆さん、是非会場に足を運んでください。

校長日記

1月31日(金)と2月4日(火)子ども県展巡回展が波佐見町講堂で開催される。70回記念展とのこと。10年前、私が県の学芸文化課に勤務した時に60回を担当した。美術は専門外だが応募作品の審査に立ち合うとそれぞれの作品からじみ出る力強さや長崎県の各地域の特色などが感じられ楽しかった。その仕事に携わったおかげで美術館や博物館にもよく足を運ぶようになった。今回小学校1年生から中学校3年生まで県内から約8万7千点の応募があり特別賞(知事賞等)42点、特選788点が選ばれた。総合展は県美術館でそれら830点が展示される。波佐見町巡回展は特別賞と郡内の特選作品が展示される。同時に郡図画工作作品展も開催される。波佐見での子ども県展巡回展は初。講堂も子供たちの作品が来るのを心待ちにしていると思ひます。皆さん、是非会場に足を運んでください。